



協議の状況

本調査の要請先である
国家海洋局を表敬訪問



広東省環境保護局
表敬訪問および資料収集。



本格調査時のカウンター
パートとなる国家海洋局
南海分局と第一回目の打
合わせ。



オブザーバーとして存
州総領事館の松村領事が
参加。



広東省海洋水産庁を表敬
訪問。



国家海洋局南海分局との
協議。南海分局側の考え
方の説明。

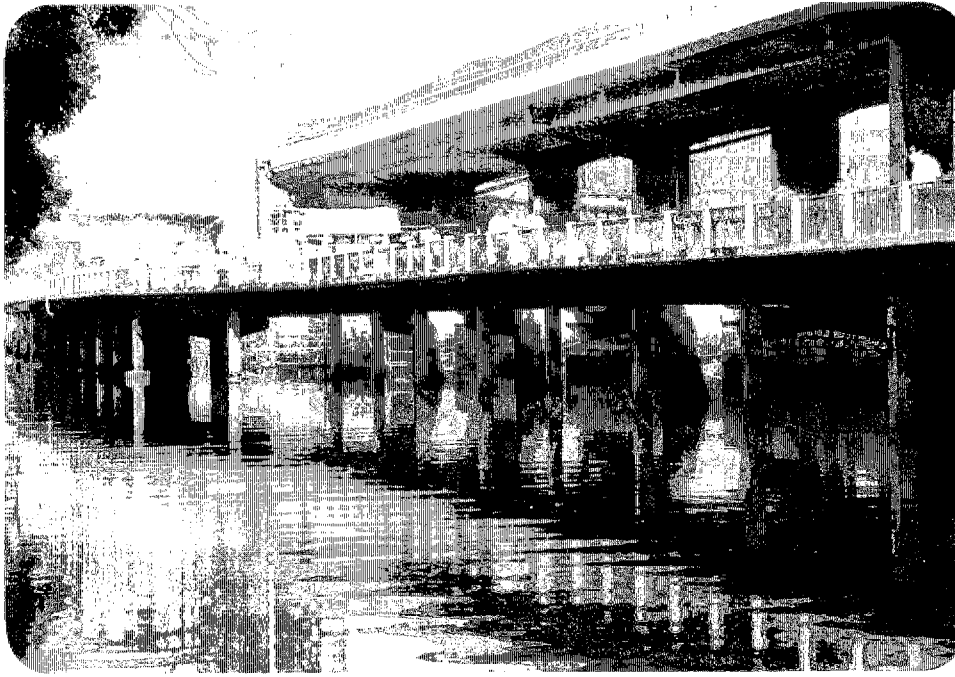


国家海洋局南海分局との協議。日本側の考えの説明を行った。

現地踏査の状況

現地踏査

広州市市内を流れる河川。底質から気泡が出ている。



珠江デルタを形成する一河川。大きいものだけでも8河川が珠江口へ流れる。



河川の水はやがて、本調査の対象地である珠江口へ流れる。水色は流入する土砂の色でチョコレート色である。



航路を維持するため浚
渫土砂は埋め立て用に
使われる。浚渫が体積
量に追いつかないのが
現状。



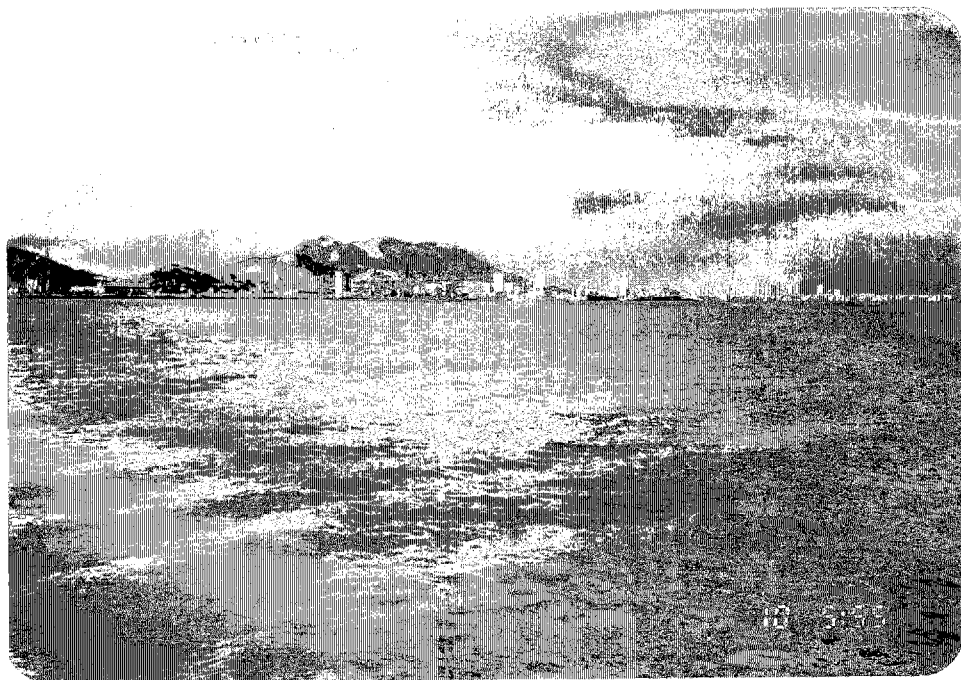
珠江口の中で水質汚濁
が激しいとされる、深
圳湾を踏査した時の調
査船（約150 t）。



開発が進む深圳湾沿岸
地域。高層建築物の建
設が進行中である。



深圳湾岸の工業地域



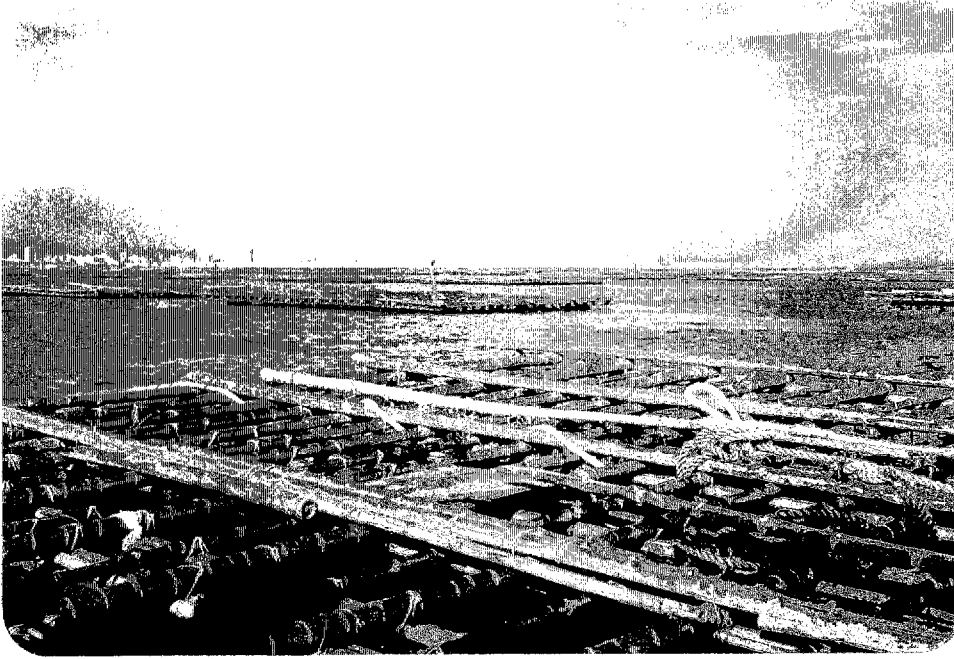
この地域は開発が進む
までは豊富な水産資源
で生計をたてていた。



カジキマグロ



カキ筏



深圳市を流れる大沙川。
河川水には固形物が多く、
底質からは気泡が出ている。



引き上げられたカキ。
泥の付着が多かった。



埋め立てが進む深圳湾沿岸地域。マングローブ帯の保全が重要な課題となるであろう。

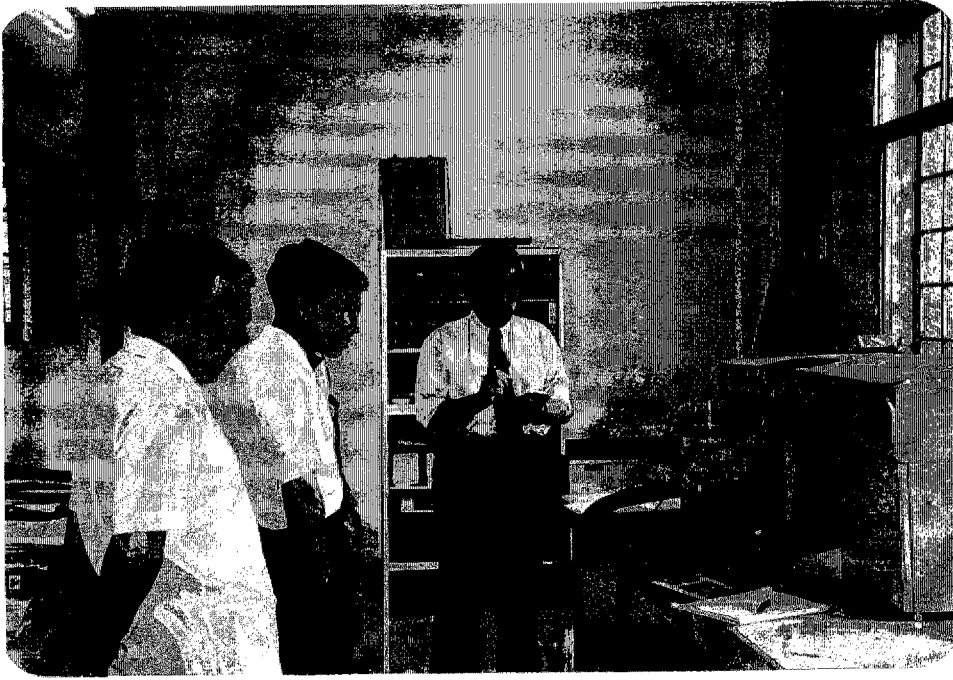


国家海洋局南海分局の
海洋気象台

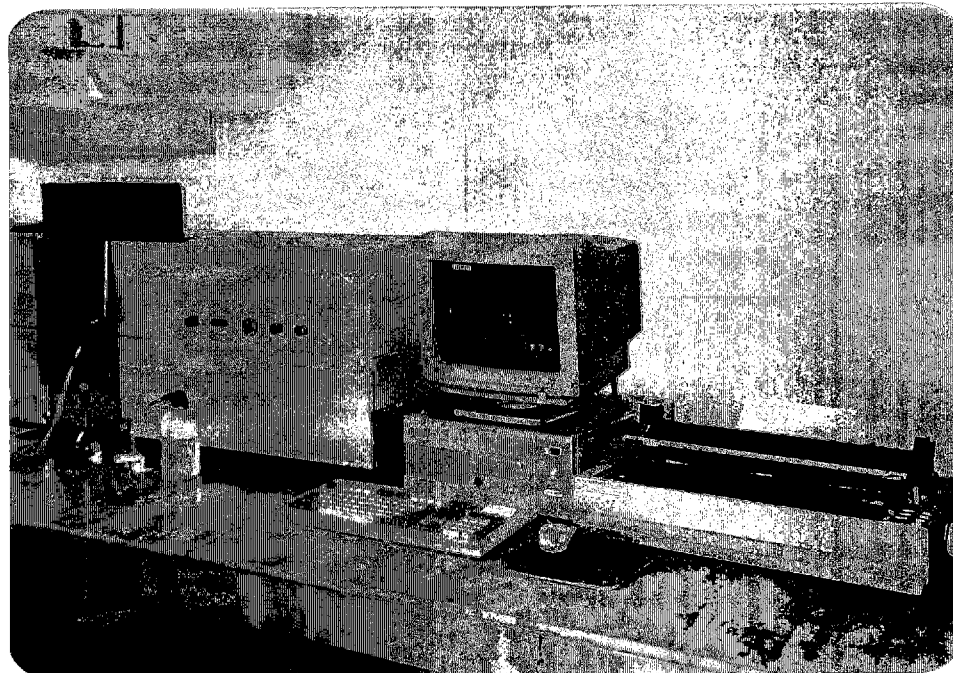
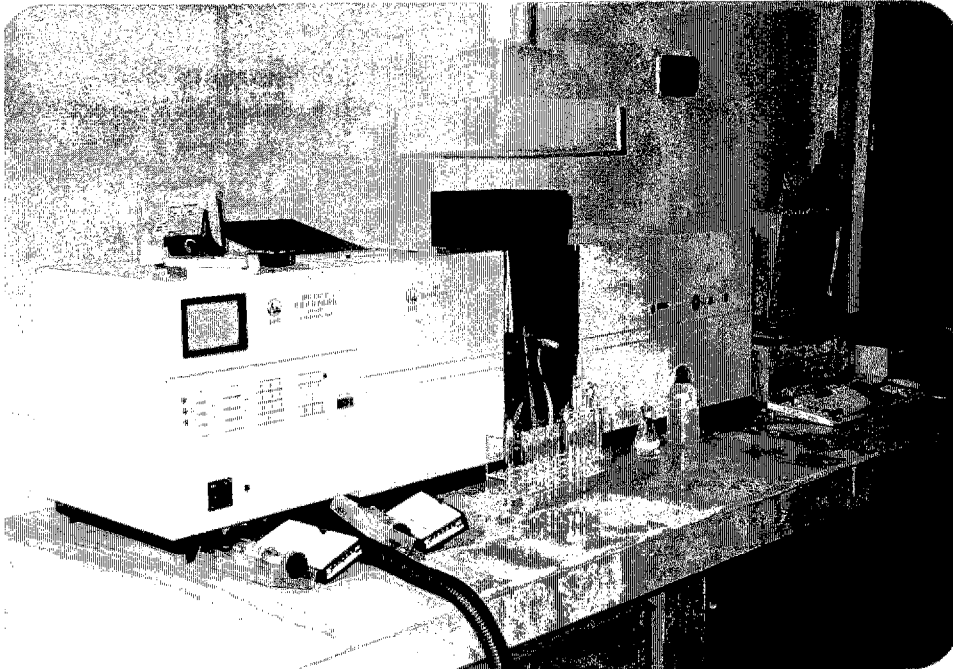


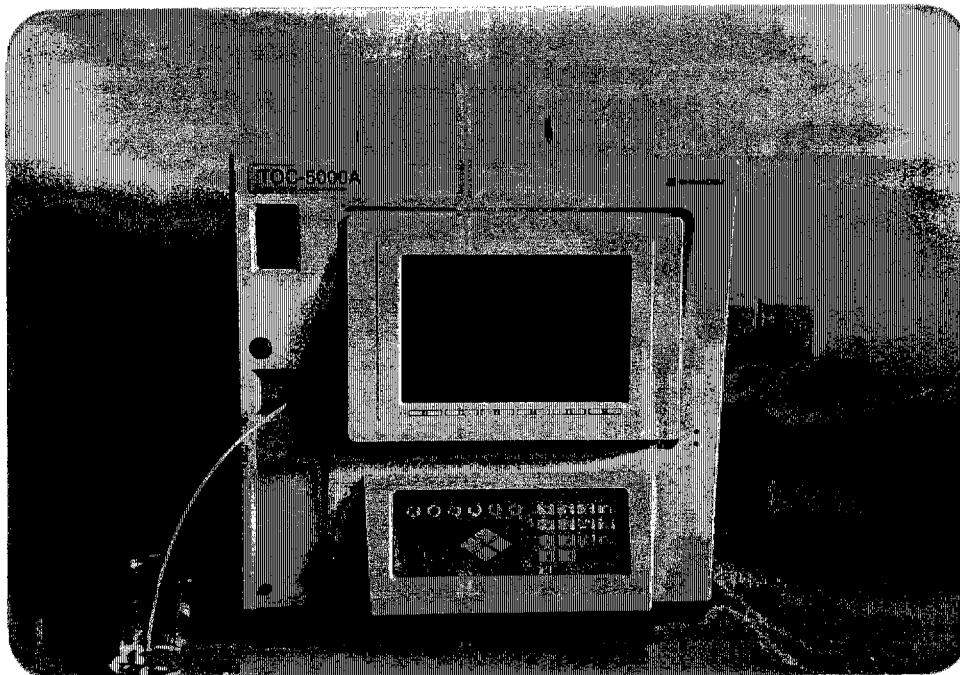
カウンターパート機関の状況

国家海洋局南海環境モニタリングセンター。
分析機器の保有状況の確認



原子吸光光度測定装置
(主に金属類の検出・測定に用いる)

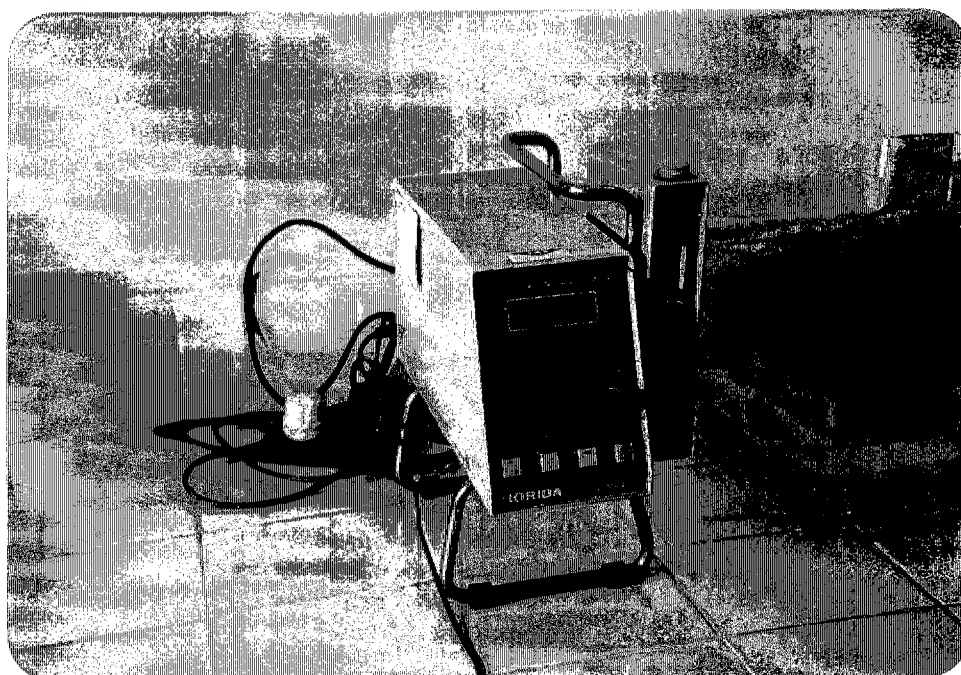




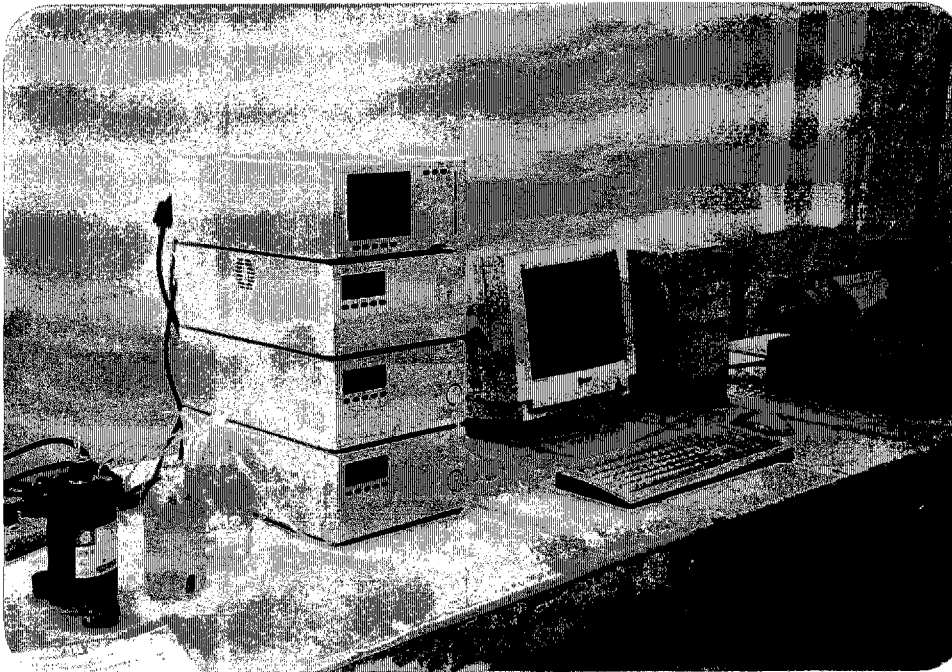
TOC計（水中の有機物の炭素量を直接定量できる）



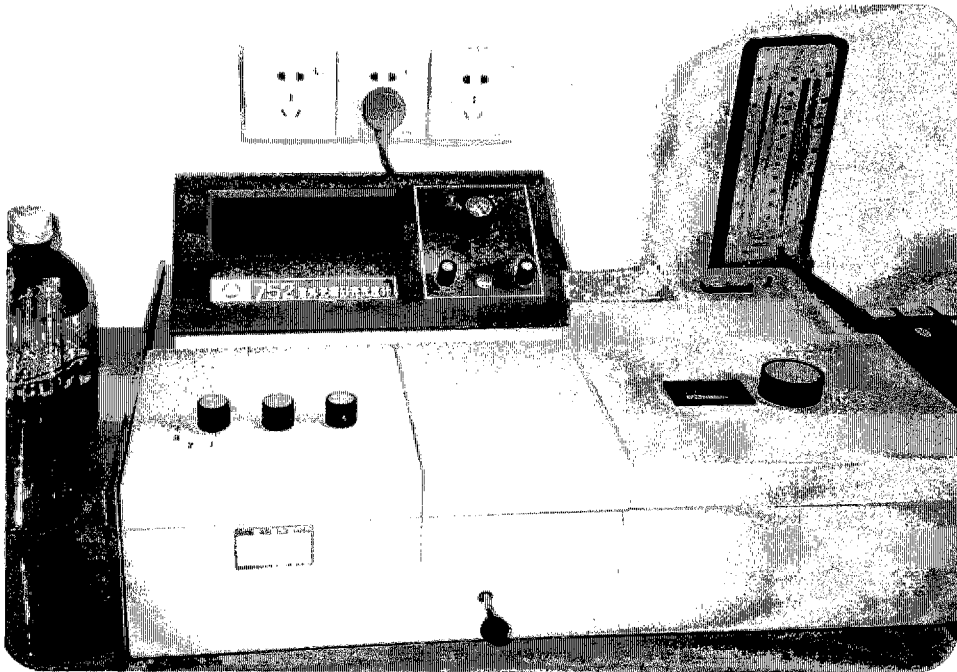
赤外線式油分測定器
（中国は四塩化炭素の抽出物を油分とする。日本はノルマルヘキサン抽出物を油分とする）



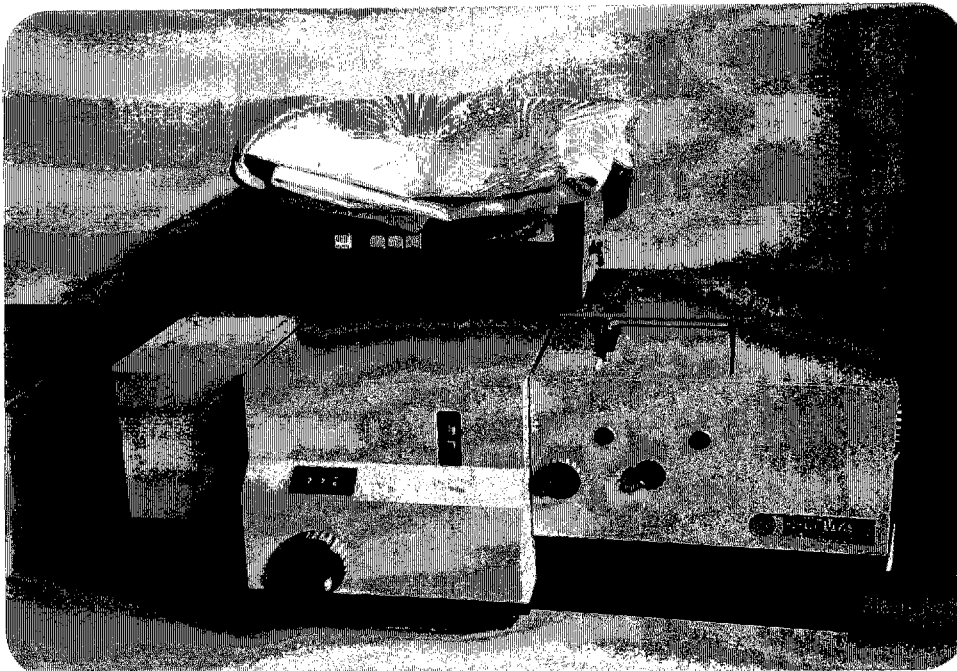
赤外線式油分測定器



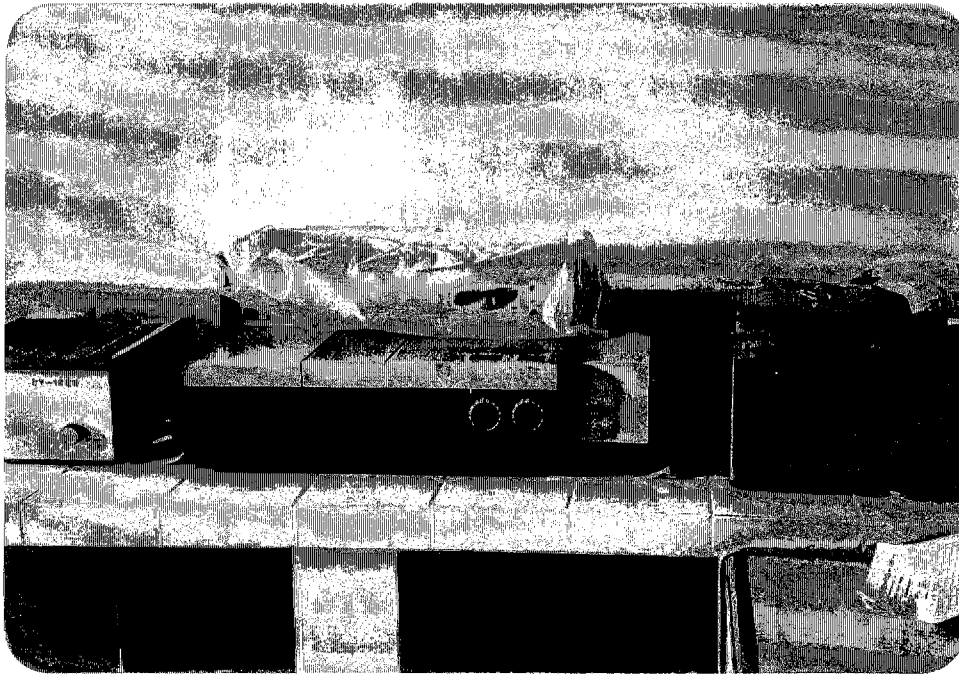
高速液体クロマトグラフ
装置 (SHIMADZU製)



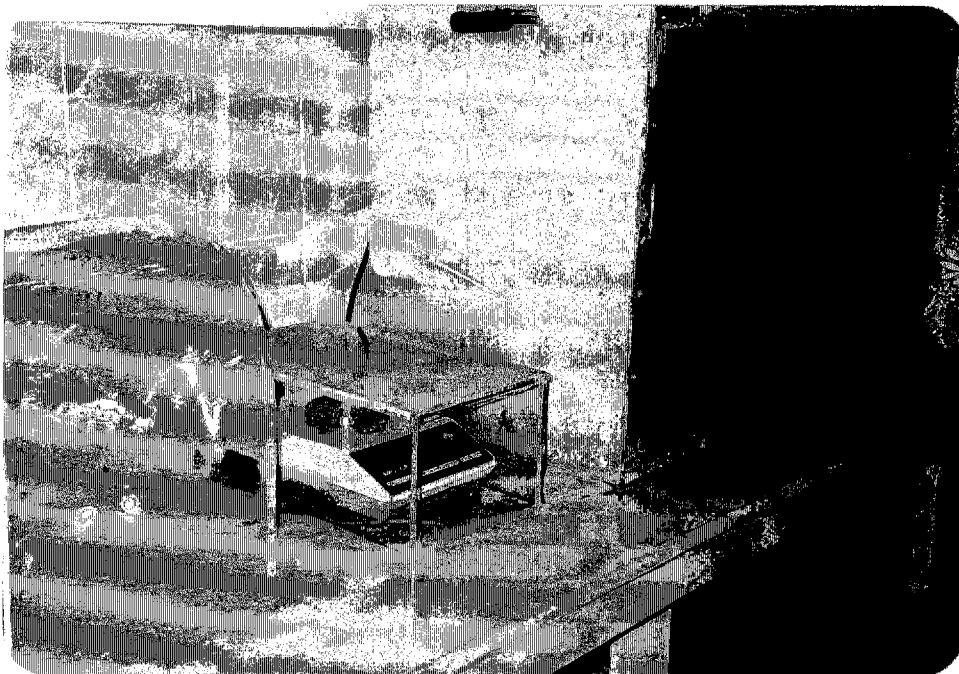
紫外光格子分光光度計
(中国製)



分光光度計 (主に金属
類の検出・測定に用い
る)



化学天秤



生物同定に使用している顕微鏡（5～6台保有している）

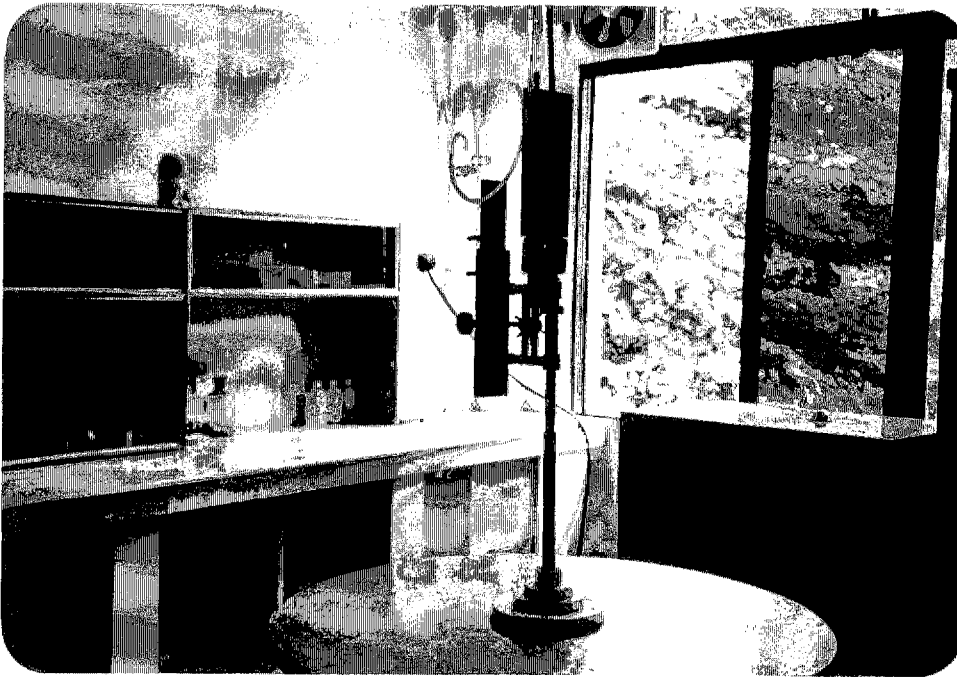


試薬保管棚

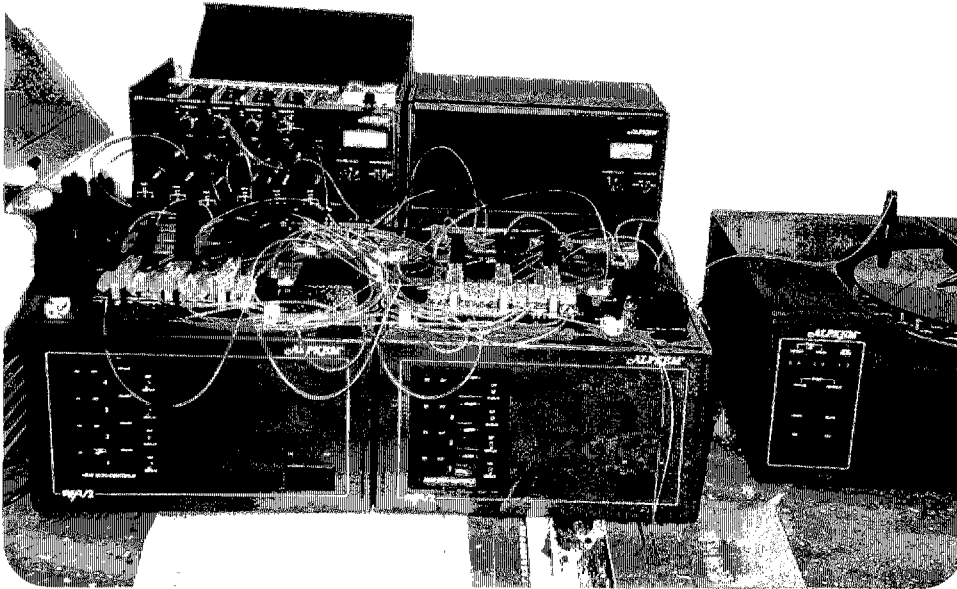


ガスクロマトグラフィー
(英国Fisons製、塩素
化炭化水素、農薬等微
量、複雑な成分分析に
用いる)
キャリアーガスはヘリ
ウムを用いている。

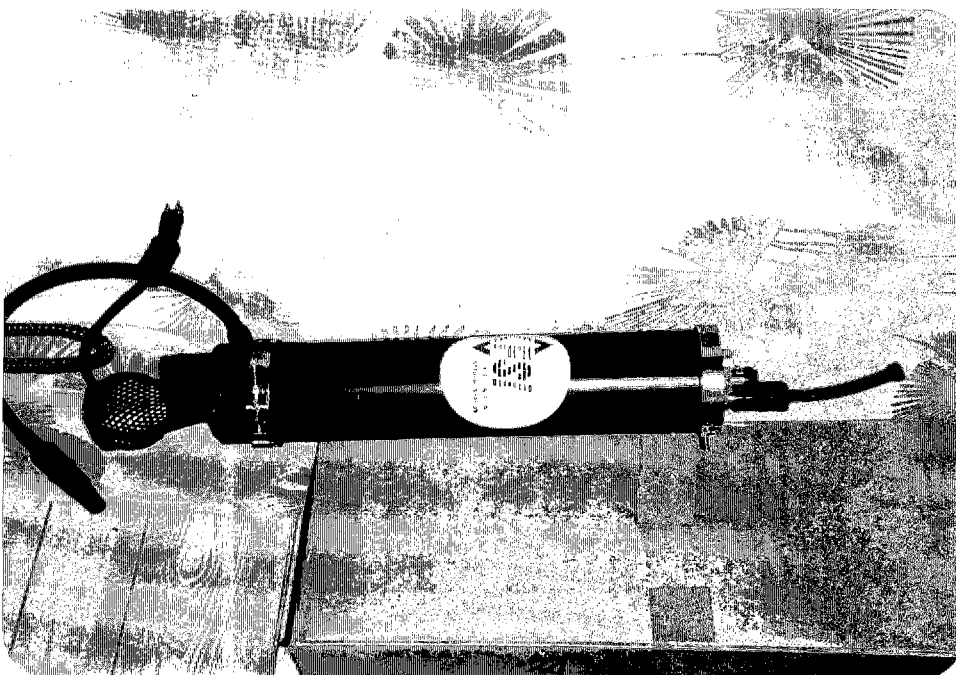


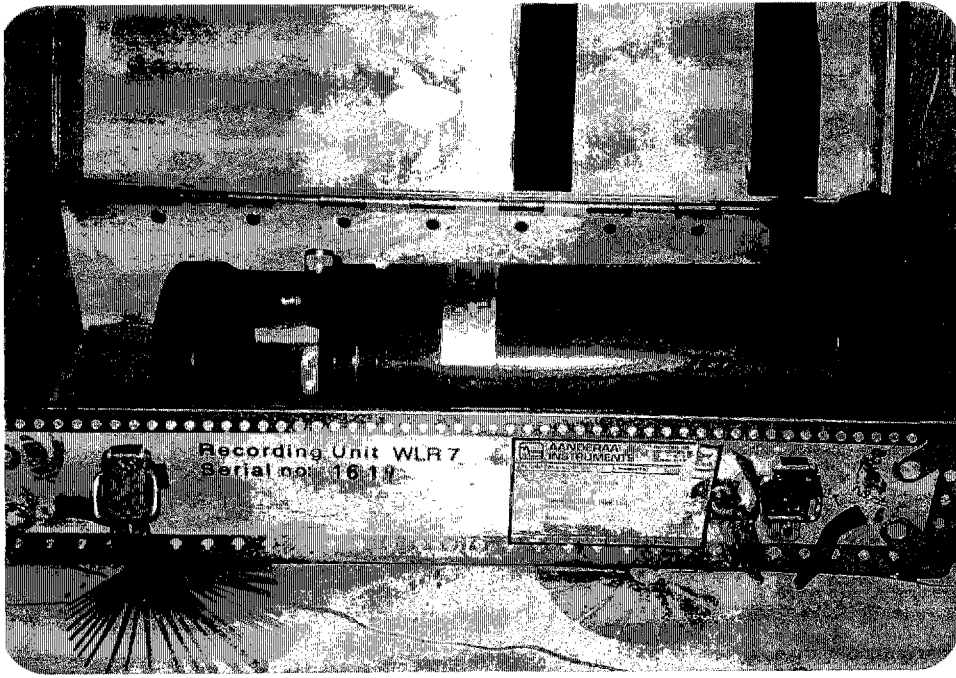


栄養塩簡易測定器。米
国ALPKEN CORP社
製。古いため故障が多
いとのこと。珪酸塩、
亜硝酸塩、磷酸塩、硝
酸塩の測定に使用。

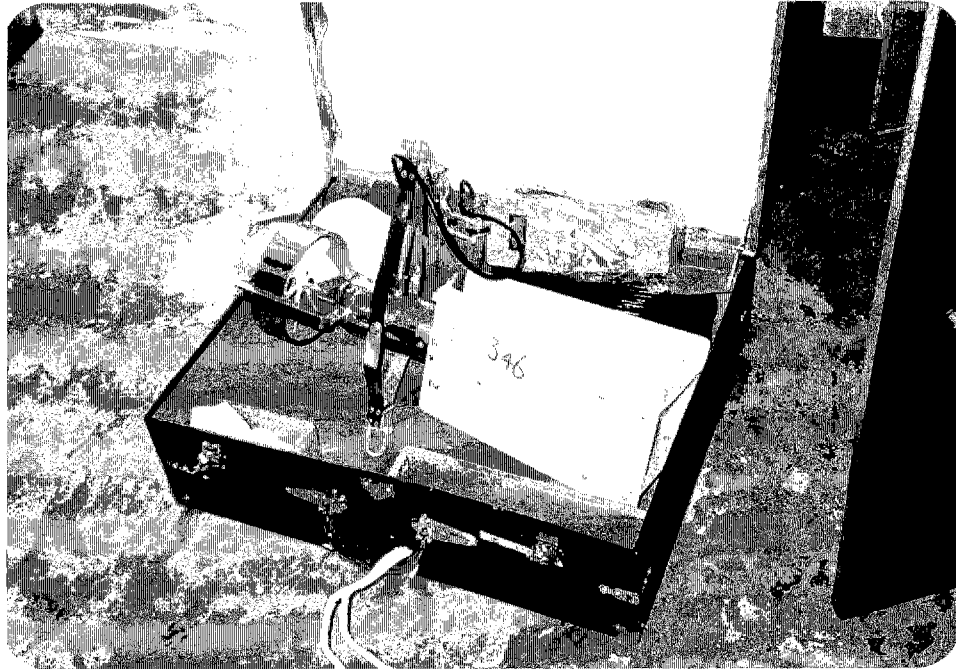


CTD測定器（塩分濃
度、水温、電気伝導度
を測定する）





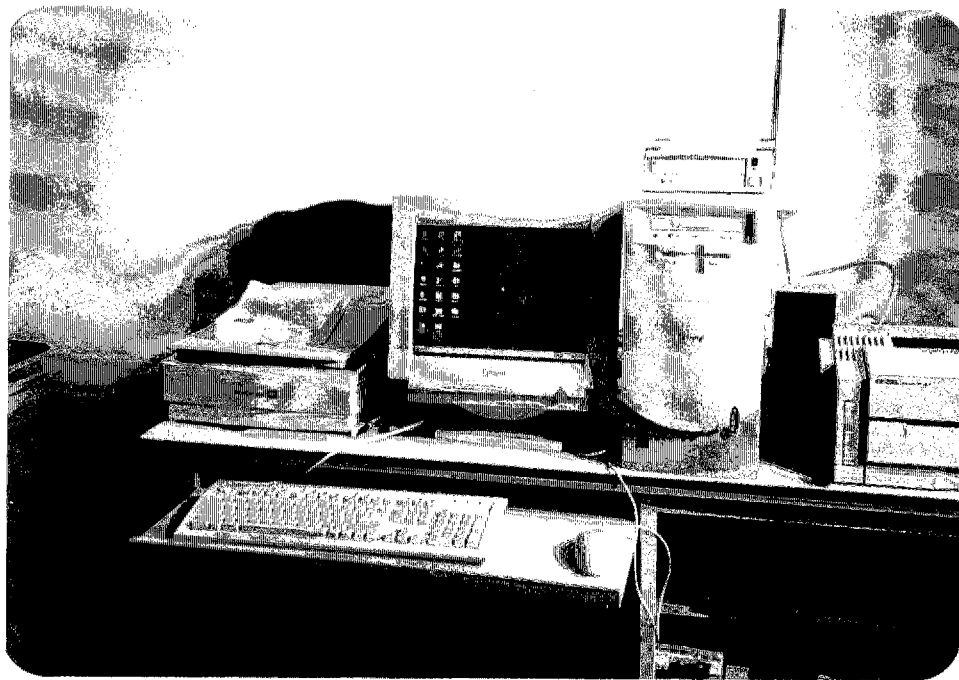
潮流計（ノールウェイ製）、2台保有



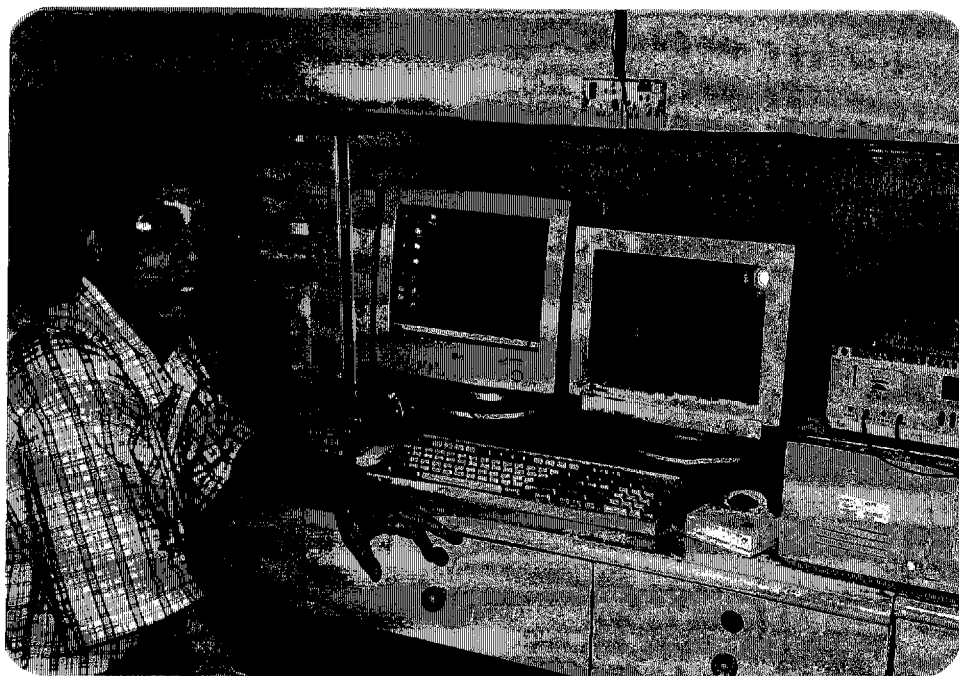
流向、流速計（中国製）、4台保有



国家海洋局广州海洋予報台。



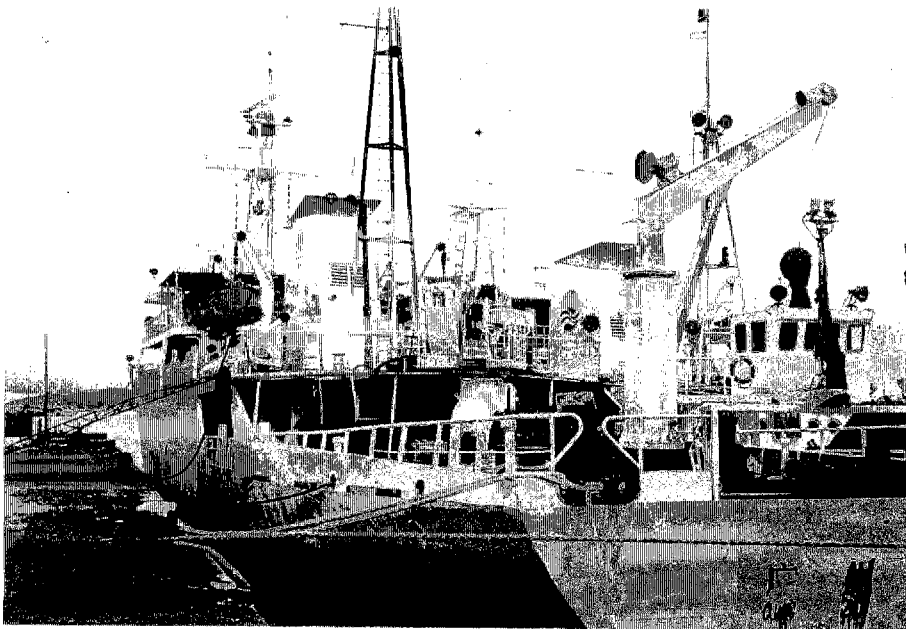
シミュレーションに用
いているパソコン



気象衛星ひまわりの情
報を処理し、海洋気象
予報に活用している。



海洋情報（波高、水温、
高潮情報）をTV局に
提供している。

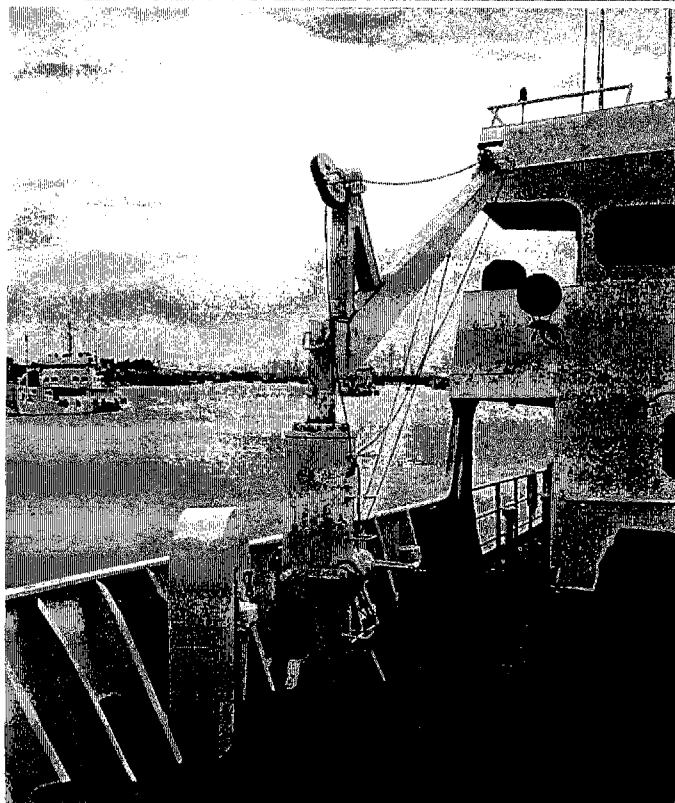


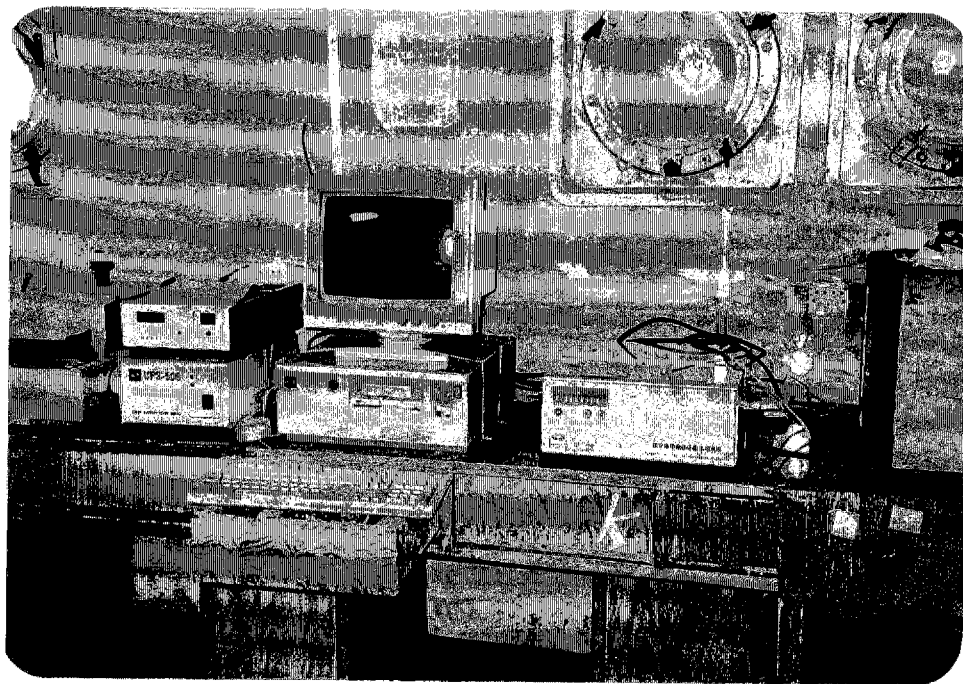
調査船の状況

国家海洋局南海分局
保有の海洋調査船。
1000 t 級であり安全
性は高い。



調査船の母校がある付
近の状況。

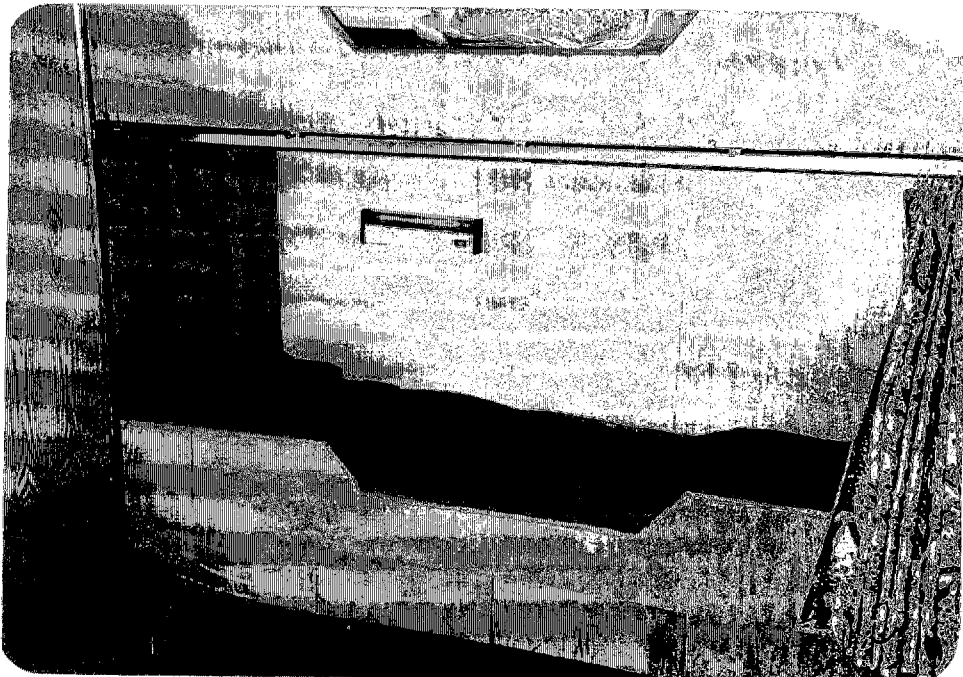




Acoustic Doppler
Current Processor,
(ADCP)。



調査船内のラボラトリ
ー。2室ある。



調査船内の宿泊設備の
状況。